

# 平成30年 黒部市教育委員会8月定例会 議事録

日時 会場	平成30年8月24日(金)午後1時30分～2時37分 黒部市役所201会議室
出席者	教育長 国香 正稔 教育委員 川崎 正美(教育長職務代理者) 教育委員 前田 潤 教育委員 加藤 昌弘 教育委員 雪山 俊隆 教育部長 次長・学校教育課長・学校給食センター所長 学校教育班長 生涯学習課長・生涯学習施設建設推進班長 スポーツ課長・フルマラソン推進班長 図書館長・図書館構想推進班長 こども支援課長・保育所・幼稚園班長 ジオパーク推進班長 生涯学習課主幹 図書館主幹 学校教育課庶務係長 長田 行正 能登 昌幸 齊藤 誠 島崎 豊 橋本 正則 川端左起子 藤田 信幸 川添 礼子 輿水 一紀 中嶋ひとみ 前林 丈雄
傍聴人	なし  (会議冒頭「市民憲章」朗唱)
教育長	只今から、黒部市教育委員会8月定例会を開会します。「議事録の署名について」は、教育長の私が署名します。次に、「7月定例会の議事録」について、訂正・質問等がありましたらお願いします。
委員	(質問なし)
教育長	特にないようでありますので、記載のとおりとして議事録に署名することとします。 次に「教育長報告」をいたします。 1 所管事業の状況報告について(行事等) (1) 8月1日(水) 北信越中学校総合競技大会黒部市選手激励壮行会(市役所) (2) 8月5日(日) 音沢交流センター竣工式(音沢交流センター) 公民館を兼ねた施設。川崎職務代理者とともに出席 (3) 8月9日(木) 新規着任ALT辞令交付式(全3名)(市役所) (4) 8月20日(月) 英語サマーキャンプ開校式(～22日)(あこや～の) 閉校式に出席。英語劇を観覧  2 出席した会議等の概要報告について (1) 7月31日(火) 立山黒部ジオパークシンポジウム(TOYAMAキラリ)  3 所管事務に関する問題・情報等について(児童・生徒の安全・安心に関すること) [前回会議以降、今回会議までの間] (1) 児童・生徒の交通事故等 ○交通事故(2件) ○そのほかの事故等(3件)

- (2) 不審者情報等 (なし)
- (3) 鳥獣出没情報 (なし)
- (4) いじめの認知件数及び指導の経過 (7月報告分)
  - ①小学校 (新規認知件数5、指導中3、見守り中10、解消2)
  - ②中学校 (新規認知件数0、指導中1、見守り中4、解消1)
- (5) 平成30年度在籍児童・生徒・園児数 (8月1日現在)
  - ①小学校 児童数 2,123人 (前月比 同数)
  - ②中学校 生徒数 1,062人 (前月比 同数)
  - ③幼稚園 園児数 91人 (前月比4人減) ※こども園含む

教育長

以上、教育長報告としますが、質問がありましたらお願いします。

委員

そのほかの事故で確認なのですが、「救急車を要請し」と記載されていれば、病院に救急車で搬送したと分かるのですが、そのように記載されず、「救急搬送した」とだけ記載されている2件については、救急車を要請したのでしょうか。要請したのであれば、その旨を記載してもらえれば、分かりやすいと思います。それともタクシーなどを呼んで搬送したのでしょうか。

学校教育班長

全て救急車です。

委員

そうであれば、今後は、「救急車で搬送した」と記載するとよいと思います。  
それと、もう一点ですが、学校の先生が現場にいた案件で、先生はどの時点までいたのか、診断をしっかりと聞いているのかなどについて、文面からではよく分からない点です。多分最後までいたと思うのですが、「本人と母親が市民病院を受診した」とあり、医師からの指示も記載されていますが、この指示を先生は病院で直接聞いたのでしょうか。

学校教育班長

この件について、診察の時点では教員はいませんでした。保護者のみ病院に行きました。

教育長

ということは、先生は帰ったということですか。

学校教育班長

はい、一旦帰ったということです。

委員

最後まで見届けるというわけではないですが、先生も診断まで聞くということが通常の対応だと思います。最後まで誰か1人は先生が残ってどのような診断結果が出たかを確認することが大事だと思います。市教育委員会として、そういった点についてどのように判断すればよいのか、考えてもらえたらと思います。

次の件も、校長と部活動顧問が病院に向かったとありますが、診断結果と治療内容について学校へ連絡があったと記載されています。これについても、校長と顧問は結果等が出る前に帰ったということでしょうか。

学校教育班長

この件は、点滴を受けている状態で、保護者から戻ってくださいと言われ、一旦学校に戻ったというものです。

委員

保護者からそのように言われても、病院にいるべきではないでしょうか。教育委員会としては、学校への指導を含め、どのように考えられますか。見届けるというか、最後まで対応する、保護者に言われたからただ帰るというのではなく、学校の対応という面でどのようにすればいいのでしょうか。

学校教育課長

対応について内部で検討したいと思います。

委員	保護者もいますが、怪我をした児童生徒を大切にするという意味では、私個人としては、最後まで対応してもらいたいと思います。以上です。
教育長	ほかに何かありますでしょうか。(なし) 次に報告事項に移ります。はじめに「報告第1号 平成30年度9月補正予算要求の概要(教育費)について」説明願います。
教育部長	補正予算の概要を申し上げます。これは、市議会9月定例会で議案として提出するものです。 まず、基金積立金の補正です。補正額は1,140千円です。ふるさと黒部サポート寄附金として、11件の寄附がありました。教育・文化・スポーツ事業への寄附ということで、教育文化振興基金に積み立てるものです。 次に、芸術文化推進事業の補正です。生涯学習課が担当しているシアターオリンピックス開催事業に向けて、補正額は額を変更しており41,300千円となります。黒部市でシアターオリンピックスの会場の一つとなる宇奈月国際会館「セレネ」の舞台設備と施設の改修等にかかる施設整備費です。黒部市でのシアターオリンピックス開催に向けた準備ということですが、来年8月から9月に利賀と黒部で開催されるもので、一年後の開催に向けて、県の支援を受けながら開催市の施設整備を行うものです。なお、視察旅費の700千円については不要ということで補正予算計上は行わない予定です。 次に、地域スポーツ振興事業の補正額は31,230千円です。全国大会及びブロック大会派遣費・激励費について、対象者の増に伴い不足が見込まれるため2,000千円の補正を計上しています。また、優秀スポーツクラブ育成補助金は、指定寄附として対象クラブに補助するものです。 最後に、図書館活動事業の補正額は150千円です。公益法人からの図書購入用の寄附があったことから、それを図書購入に充てるものです。説明は以上です。
教育長	質問がありましたら、お願いします。
委員	開催会場施設整備費について、セレネの施設整備41,300千円となっていますが、大まかな内訳を教えてくださいませんか。
教育部長	演劇を実際に行う大ホールの舞台装置について約18,000千円から20,000千円程度かかる予定です。また、セレネ自体の外装について、外壁や階段の洗浄、改修、照明の修理についても半分程度かかる予定です。
委員	分かりました。
教育長	ほかに何かありますでしょうか。(なし) 次に「報告第2号 教育委員会事務の点検・評価について」説明願います。
教育部長	平成30年度教育委員会事務の点検・評価(平成29年度事業分)につきましては、教育委員会での原案がまとまりましたので、これを教育振興協議会に諮問して審議をしてもらうものです。取りまとめた事業件数が全部で58件、学校教育課が26件、生涯学習課が17件、スポーツ課が10件、図書館が2件、学校給食センターが2件、こども支援課が1件となっています。内容につきましては、別冊として配付しています。この内容の詳細な説明は省略しますが、いじめ不登校対策や東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致推進事業など、一部事業の追加や入れ替えをしています。これをもって、教育振興協議会に諮問したいと考えています。今後の予定については、8月31日に振興協議会による1回目の審議、9月18日に2回目の審議、その後、9月27日に予定している9月定例教育委員会においてその結果を説明し、お諮りしたいと考えています。11月には学識経験者の意見をいただき、12月市議会定例会で報告し、公表したい

と考えております。説明については以上です。

教育長

いじめ不登校対策などが加わっているということですね。

教育部長

これにつきましては、昨年度取りまとめた際、学識経験者からの意見として指摘されたものであり、その方は教育振興協議会委員としても参画しておられるので、今回加えたものです。

教育長

では、質問があればお願いします。

委員

「成人式の開催」という事業があり、そちらに課題・改善が記載されていますが、昨年度の成人式が行われた後、成人式について教育委員から話がありました。来賓や招待者の座席が確保されずに大変迷っておられた、困っておられたのを見たというものです。これも、課題・改善に付け加えて、教育委員からの意見を反映してもらいたいと思います。ほかのところも同様ですが、教育委員の指摘も加えてもらいたいと思います。あと、ほかに見ていて言い回しなど気になった点もあったので、この場での議論ではなく、後ほど事務担当者に検討課題として伝えたいと思います。よろしくをお願いします。

教育長

成人式について、担当課から何かありますか。

生涯学習課長

今ほどの内容については、確かにご指摘のあったところですので、課題として追加で記載したいと思います。

教育長

ほかにいかがでしょうか。

委員

事業そのものについての意見をよろしいですか。

「英語サマーキャンプ」についてです。今年も開校式に出席して、すばらしいと感じました。教育委員会が細かいところまで世話をして、ある意味では現場に負担がかからない形で事業を実施していると思います。また、参加人数も増えているということで、毎回かもしれませんが、リピーターもいると思います。そのうえで一つ言わせてもらくと、まず国際理解教育というか英語特区の授業の一つと聞かされたことがあります。参観して思うのは、学校教育との連続性がないのではということです。つまり、サマーキャンプでの取り組みを学校へフィードバックできないかということです。これとあわせて、英語科の問題も出てきたので、この事業のあり方をもう一度見直して、せっかくいいものを有効に展開する形で進めるとよいと思います。見ていて初めて気がついたのは、養護教諭や管理職の先生は来ておられましたが、そのほかの先生はおられませんでした。負担軽減ということもあるのかもしれませんが、先生の研修の機会にできればと思います。事務の点検・評価では職員研修という項目もありますが、これと上手に組み合わせることで職員の極端な負担にならない形で研修の場とすることで、教育現場ともスムーズにつながるのではないかと思います。サマーキャンプに参加した子ども達を活かし、かつALTを活用することで、サマーキャンプの活動などを学校に紹介するなどのフィードバックの仕組みをつくることできれば、もっと循環していくと思います。これまでの経緯や発足の意味合いもあるとは思いますが、一度見直しをして事業のあり方をもう一度考えることが有効な発展につながると思います。黒部市のALTは優秀なので、もっと活用してもいいのではないかと思いますし、サマーキャンプのあり方を一度検討してもらえたらと思います。

教育長

サマーキャンプを、この後学校で活かさないか、ということですね。

委員

職員研修に関しては、免許の更新などもあり、現場は8月の研修がものすごく大変になっているので、8月に研修を入れるのは大変厳しい面もあると思います。一週間ずつ

と研修ばかりという場合も出てきていると思います。そういう意味ではちょっと言いにくいのですが、どこかに組み込めたらという思いです。ただ、先生方も今後の小学校英語教育のあり方について不安を持っていると思いますので、そのためにも検討してもらえればと思います。

教育長 事務局から何かありますか。

学校教育課長 英語サマーキャンプに参加したリピーターの子どもは、ある程度上手に英語を話していると見受けられますので、そういった子が英会話科の授業でリーダー的な役割を果たせるような方策等がないか、今後考えたいと思います。それと、教員の参加については、働き方改革という話もありますが、小学5、6年を担当される先生方を中心に参加してもらえるかどうか内部で検討したいと思います。

教育部長 今、課長が申したことは課として事業を拡充したいという考え方であると思いますが、私は部長としての立場で言えば、この英語サマーキャンプというのは、教育委員がお気づきのとおり、非常に異質な面があり、教育委員会が直接行っている事業はおそらく本事業だけです。例えば、音楽会などほかの事業は全て、校長会など先生方が多く関わっておられるなかで、教育委員会が支援するというものですが、英語サマーキャンプだけは教育委員会が直接行っています。一般的に言って、教育委員会が直接事業を行うこと自体が異例であると思います。また、別の見方をすると、英語サマーキャンプは養護教諭に参加していただいています、英語の先生は参加していません。養護教諭の先生が参加することについて、教職員組合からは負担だと言われています。そのため、委員ご指摘のとおり先生方に負担をかけないよう教育委員会が直接行っているわけですが、その結果、教員への広がりがなくなる、先生方に参加していただくとなると負担感を感じるようになるという流れになっています。私が思うところでは、一般的な事業とするためには、例えば学校などが中心となって、教育委員会が全面的に支援するということがいいと思うのですが、成り立ちの経過などを考えると、教育委員会が直接行う事業となっています。先生方の負担を考慮すると、現在の方法でいいのかもしれませんが、学校への広がりという意味では逆に広がらない、英語サマーキャンプでの取り組みはALTと教育委員会職員、そして参加した子ども達しか知らないという状況になっています。このあたりをどうすればいいのか、学校教育課では拡充したいとのことですが、マンパワーも限られているなかで、どのようなやり方がいいのか、まさしく委員ご指摘のとおり、大胆な見直しも必要ではないかと私としては思っています。

委員 リピーターが増えて参加する子どもが増えるのはいいことですが、キャパ的にはいっぱいになってきているという感じがしました。世話をしている職員も大変だろうと思います。

教育部長 この期間は、学校教育課の職員の半分弱がずっとサマーキャンプに関わるわけですので、実際大変だろうと思っています。

委員 予算的なことは詳しく分かりませんが、養護教諭に負担がかかるということであれば、市民病院の看護師をお願いするといった方策もあると思います。予算面がやはり問題になるかもしれませんが。

教育部長 予算というより、学校の先生が一人でもいてもらえれば、参加している児童生徒が安心できるのかなという思いです。

委員 そのとおりですね。

教育部長 予算面で対応できる点もあると思うのですが、学校教育課の職員は教員というわけ

ではないので、参加者が70人近くになる状況において、ALTも日本に来たばかりの者が数名いるなかで、体調不良を訴える参加者などの対応はかなり大変です。やはり一人でも二人でも先生方にいていただけると、色々難しいとは思いますが、大変ありがたいことだと思っています。

委員 新任のALTは、初めて黒部の子ども達と接するわけですね。

教育部長 そうです。二泊三日の間、一緒に過ごすことになります。

委員 出張というよりも、先生方が参加された場合はボランティアという感じかもしれません。先生がおられるだけで、子ども達の精神的な安定やホームシックになる子どものケア、怪我をした子どもの処置など、安心面での対応はかなり違うと思います。

教育部長 サマーキャンプでは毎回、2～3人がホームシックになり、夜に家に帰るといったこともあります。今後どのように対応すればいいか検討できればと思います。

教育長 色々検討が必要だということだと思いますが、検討の場としてはまずは国際化推進協議会ということになるのでしょうか。

教育部長 協議会の場なのか、委員のお話から校長会などで相談することも考えられますが、働き方改革などが言われるなかで、負担増を求めるようなことはなかなか言えないとも思っています。

教育長 委員が言われるとおり、今後の方向性をどうしていくか、課題や改善の整理を含めて検討する必要があります。

このほか、教育委員会事務の点検・評価について、何かありましたらなるべく早めに事務局にご連絡いただければと思います。

では、「報告第3号 黒部市働く婦人の家運営委員会委員及び黒部市勤労青少年ホーム運営委員会委員の委嘱について」報告願います。

生涯学習課長 「黒部市働く婦人の家運営委員会委員及び黒部市勤労青少年ホーム運営委員会委員の委嘱について」報告します。これについては、任期満了に伴う新委員の委嘱ということになります。委員の人数は11人、任期は平成30年7月1日から平成32年6月30日までの2年間となっています。説明は以上です。

教育長 ご意見があればお願いします。(なし)

次に、「報告第4号 課等の事業報告(経過・予定)について」報告願います。

学校教育課長

[経過事業]

○7月31日 中学校統合準備委員会 第2回総務企画専門部会(宇奈月・桜井校区)  
・総務企画専門部会は、校歌、校章を協議する場

○8月1日 中学校統合準備委員会 第2回総務企画専門部会(鷹施・高志野校区)

○8月2日 中学校統合準備委員会 第10回制服・体操服選考専門部会(鷹・高)

○8月7日 中学校統合準備委員会 第9回制服・体操服選考専門部会(宇・桜)

○8月9日 新規着任ALT辞令交付式(全3名)

○8月20日 英語サマーキャンプ開校式(～22日)

[予定事業]

○8月27日 中学校統合準備委員会 第3回総務企画専門部会(宇奈月・桜井校区)

○8月28日 中学校統合準備委員会 第3回総務企画専門部会(鷹施・高志野校区)

○8月30日 中学校統合準備委員会 第11回制服・体操服選考専門部会(鷹・高)

- 8月31日 小中学校校長研修会
- 8月31日 黒部市教育振興協議会（点検・評価審査1回目）  
・教育委員会事務の点検・評価について議論
- 9月3日 黒部市議会9月定例会（～26日）
- 9月8日 中学校体育大会
- 9月11日 中学校統合準備委員会 第10回制服・体操服選考専門部会（宇・桜）
- 9月11日 学校訪問：通常訪問研修（生地こども園）  
12日/さくら幼稚園 13日/石田こども園 19日/宇奈月中学校
- 9月15日 小学校運動会
- 9月18日 黒部市教育振興協議会（点検・評価審査2回目）
- 9月27日 教育委員会9月定例会

生涯学習課長

〔経過事業〕

- 7月29日 黒部川水のコンサート&フェスティバル2018
- 7月29日 中陣のニブ流し
- 7月31日 立山黒部ジオパークシンポジウム
- 8月3日（仮称）くろべ市民交流センター建設基本構想パネル展（～4日）  
・三日市地内で開催されたくろべ納涼楽市2018においてパネル展を実施
- 8月5日 音沢交流センター竣工式
- 8月7日 尾山の七夕流し
- 8月19日 青少年育成黒部市民会議下立支部第39回虹マス・イワナつかみ楽しみ会

〔予定事業〕

- 8月28日（仮称）くろべ市民交流センター管理運営計画策定委員会  
第5回ワークショップ
- 8月28日（仮称）くろべ市民交流センター管理運営計画策定委員会  
第6回ワークショップ
- 8月29日 くろべ女性団体連絡協議会研修会「市長と語る会」
- 9月1日 「SCOTサマーシーズン2018」観劇

スポーツ課長

〔経過事業〕

- 7月28日 第71回富山県民体育大会中心会期（～30日）  
・一般の部4位、中学の部9位
- 8月1日 北信越中学校総合競技大会黒部市選手激励壮行会
- 8月10日 県民体育大会黒部市選手団反省会
- 8月14日 内山・愛本地区体育大会
- 8月15日 音沢地区体育大会
- 8月16日 浦山鶏野神社相撲大会

〔予定事業〕

- 8月25日 第21回黒部カップミニバスケットボール大会（～27日）
- 9月1日 第22回黒部名水少年野球交流大会（～9日）
- 9月2日 2000年とやま国体アーチェリー競技開催記念第17回うなづきCUP
- 9月24日 黒部市「2020東京オリンピック・パラリンピック」バレーボール競技  
事前キャンプ誘致推進事業 ケニア女子代表キャンプ（～27日）

図書館長

〔経過事業〕

- 8月10日 「オリジナルしおりを作ろう」  
・参加者 子ども23名 大人7名 計30名

〔予定事業〕

	○9月 6日 「定年後の備えと楽しみ特集」(～10月8日)
	○9月 13日 「知っておきたい がんのこと」(～10月14日)
学校給食センター所長	〔経過事業〕 ○7月 31日 富山県共同調理場連絡協議会 栄養教諭・学校栄養職員研修会
	〔予定事業〕 ○9月 3日 第2学期学校給食開始 ○9月 28日 黒部地場産学校給食の日(第2回)
こども支援課長	〔経過事業〕 ○8月 5日 石田納涼祭(5歳児)【石田こども園】 ○8月 20日 クロダイ稚魚放流(5歳児)【石田こども園】 ○8月 23日 登園日(生地こども園) 24日/石田こども園 30日/さくら幼稚園
	〔予定事業〕 ○9月 3日 2学期始業式 ○9月 29日 ふれあい運動会(生地こども園) ○9月 29日 なかよし運動会(石田こども園) ○9月 29日 親子運動会(さくら幼稚園)
教育長	各課等の事業報告がありましたが、これらについて質問があればお願いします。(なし) 次に、「6 連絡事項等」についてお願いします。
学校教育課長	(今後の日程について確認) ○教育委員会9月定例会 【日時】9月27日(木) 午後1時30分【会場】301会議室
教育長	質問がありましたらお願いします。(なし) 今年初めて学校閉庁を行いました。事務局から報告することはありますか。電話の有無など、反応や反響も含めて、何かあればお願いします。
学校教育課長	保護者には事前にお知らせしていますので、特段ありませんでした。
教育部長	6月26日付けで、学校閉庁について教育委員会から学校へ案内しました。期日は8月13日(月)から15日(水)の3日間となりますが、保護者宛ての説明プリントも配付するよう依頼しました。実施してみて、問題があったとは聞いていません。
教育長	分かりました。ほかに何かありますか。(なし) 色々ご意見をいただきありがとうございました。 以上で、本日の会議を終わります。

上記、議事録の正確なることを証するために、次に署名する。

平成30年9月27日

署名人 黒部市教育委員会 教育長 国 香 正 稔